

中国株ウィークリーレポート

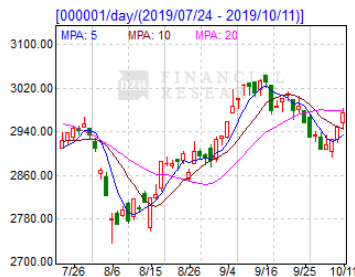
2019/10/15

【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	18年末株価
NYダウ	26,816.59	319.92	1.21	0.91	14.96	23,327.46
NASDAQ	8,057.04	106.26	1.34	0.93	21.43	6,635.28
日経225	21,798.87	246.89	1.15	1.82	8.91	20,014.77
上海総合	2,973.66	25.95	0.88	2.36	19.24	2,493.90
滬深300 (CSI300)	3,911.73	37.09	0.96	2.55	29.93	3,010.65
ハンセン	26,308.44	600.51	2.34	1.89	1.79	25,845.70
中国企業	10,452.58	234.09	2.29	3.01	3.24	10,124.75

【株式概況】

先週の動き: ハンセン指数は1.9%高と4週ぶりに反発、上海総合指数は2.4%高

香港市場は7日が重陽節で休場のため4営業日の取引。ハンセン指数は4日間で1.9%高と4週ぶりに反発した。週前半は米中閣僚級通商協議の開催を前に神経質な値動きが続いたが、トランプ米大統領が通商協議について「非常にうまくいった」と発言すると米中協議の進展期待から1週間ぶりに26000ポイント台を回復した。本土市場は7日まで1週間の国慶節連休だったため4日間の取引。上海総合指数は4日間で2.4%高と4週ぶりに反発した。景気刺激策や通商協議の進展期待から11日まで4営業日続伸となった。

今週の展望: 香港市場は買い先行も週後半にかけて上値の重い展開に

香港市場は週後半にかけ上値の重い展開が予想される。10-11日に開かれた米中閣僚級通商協議の結果を受けてひとまずリスクオンの動きが先行しそうだが、通商問題を巡っては今後も紆余曲折が予想されるほか、今週はGDPをはじめ中国の主要経済指標の発表が集中することから様子見姿勢が強まる公算が大きい。仮に弱い指標が発表された場合には景気の先行きに対する警戒感が相場の重しとなりそうだ。一方、本土市場も週前半こそ堅調に推移しそうだが、週後半にかけては上値の重い展開が予想される。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 華潤置地 (01109)	35.65	7.70
2 中国生物製薬 (01177)	10.82	6.08
3 瑞声科技 (02018)	45.95	5.63
4 万洲国際 (00288)	7.40	5.56
5 吉利汽車 (00175)	13.88	5.31
6 香港証券取引所 (00388)	237.20	4.96
7 CNOOC (00883)	12.04	4.33
8 ヘトファイ (00857)	4.13	4.29
9 創科実業 (00669)	54.75	4.29
10 中国工商銀行 (01398)	5.37	4.07

▼騰落率下位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 Link REIT (00823)	82.90	-5.20
2 太古A (00019)	72.00	-1.97
3 ハンセン銀行 (00011)	163.50	-0.67
4 舜宇光学科技 (02382)	118.00	-0.59
5 AIAグループ (01299)	73.25	-0.41
6 新世界発展 (00017)	10.36	-0.38
7 中銀香港 (02388)	25.85	-0.19
8 長江実業地産 (01113)	52.75	-0.19
9 中電控股 (00002)	80.90	-0.12
10 サズ・ファイ (01928)	35.45	0.00

▼今週の主なイベント

- 10月16日(水) 【香港】行政長官の施政方針演説
- 10月18日(金) 【中国】GDP(7-9月)、固定資産投資(1-9月)、小売売上高、鉱工業生産(9月)

▼今週の期待材料

- ◆米中閣僚級通商協議で米中が部分合意、「一時休戦」で米中対立激化への警戒感が後退
- ◆16日に香港行政長官が施政方針演説、デモ収束に向けたメッセージが発表される可能性も
- ◆中国政府による景気刺激策への期待が継続、弱い経済指標の発表が続けば期待がさらに高まる可能性も

▼今週の懸念材料

- ◆中国の9月の輸出は3.2%減と前月からマイナス幅が拡大、景気の先行き不安が高まる公算
- ◆香港の住宅価格先行指標CCLが7週連続下落、デモ長期化による政情不安で不動産市況も悪化
- ◆米国が禁輸リストに中国の28団体・企業を追加、ハイテク分野での米中対立が激化

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 中国国際航空 (00753) : 9月の旅客数が5%増加、座席利用率は0.1ポイント改善
- ☆ 中国鉄塔 (00788) : 18日に7-9月期決算を発表、市場予想は純利益2.7倍
- ☆ 中聯重科 (01157) : 1-9月期決算は需要拡大で純利益が最大2.7倍の見通し
- ☆ 中国冶金科工 (01618) : 1-9月の受注額が19%増加、海外受注は6%増
- ☆ 長城汽車 (02333) : 9月の新車販売台数が15%増加、1-9月は7%増
- ☆ 中信証券 (06030) : 9月の営業収益が15%増加、純利益は36%増
- ☆ 衆安在線財産保険 (06060) : 1-9月の保険料収入は21%増加、9月は41%増
- ☆ 海通証券 (06837) : 9月の営業収益が69%増加、純利益は3.1倍に拡大
- ★ アンガン・スチール (00347) : 1-9月期決算は価格下落などで75%減益の見通し
- ★ 華潤電力控股 (00836) : 9月の電力販売量が0.5%減少、1-9月は5%減

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。